

(2) 思想

- 1 『[1]聖書』…A.D. 1 C の内に成立  
cf. 四[2]書…マタイ伝・マルコ伝・ルカ伝・ヨハネ伝
- 2 ヤハウエ観
  - a [3]の神 比：ユダヤ教では「正義の神」
  - b 悔い改める人を許し、救う神 比：ユダヤ教では「律法の実行を求め、裁く神」  
ex. 「安息日は人のためにある。  
人が安息日のためにあるのではない」  
「私は律法を成就させるために来た」
- 3 [4] (神の愛。神と人の間)  
…自己犠牲的で下降的な、与える愛  
比：エロース (知への愛) …ギリシアの「上昇的な、求める愛」
- 4 [5]愛 (これもアガペー。人と人の間)
  - a 「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せ」
  - b 「あなたの敵を愛しあなたを迫害する者のために祈れ」

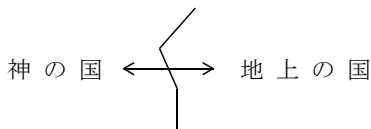
③ 展開

(1) [6]

- 1 もとパリサイ派→[7]心し、「異邦人の使徒」に cf. [8]宗教として信者が拡大  
∴ユダヤ人以外へのキリスト教布教に活躍
- 2 [9]罪 sin ex. アダムとイヴの自己愛  
→罰と許しは神のみによる 肉体をもつことによる弱さ  
比：犯罪 crime の罰と許しは人による
- 3 [10]思想…全人類の sin は、イエスの死によって<sup>あがな</sup>贖われた (償われた)
- 4 キリスト教[11]徳…信仰・希望・愛  
これが中心とされる  
比：ギリシア四元徳…知恵 (頭)・勇気 (胸)・節制 (腹)・正義

(2) [12] cf. 北アフリカの [13]父

- 1 カトリックの教義を確立  
←ギリシア (特にプラトン) 哲学を援用
- 2 sin …どうしても悪をなさざるをえないこと  
∴自由意志が肉体と結びついている
- 3 (神の) [14]… sin を免れるためには、これを信じるしかない
- 4 カトリック教会の [15]付け



…歴史とは、神の国と地上の国の両者の闘争→後に神の国が勝利  
cf. 教会は地上の国における神の国 ∴神の国≒イデア (プラトン哲学)

- 5 『[16] (神国論)』、『[17] (告白録)』… マニ教からの回心
- 6 時間論…現在は、過去にも未来にもある

(3) [18]学…中世ヨーロッパではこの神学が哲学の上位 ∴「哲学は神学の<sup>はしため</sup>婢」)  
…トマス = [19] (11C、伊) が『[20]大全』によりスコラ学を大成 「女奴隷」

MEMO etc.